

平成30年度

学校評価アンケートの集計結果

三田市立狭間中学校

<回答者> 生徒：362/380人 保護者：262/348人 教職員：30/30人

*保護者は、個々の子供に関する回答も含む

*教職員は、教員・事務員・校務員・介助員・指導員

<回答方法> 4段階 A. そう思う B. ややそう思う
C. ややそう思わない D. そう思わない

<項目ごとの分析と検証>

1. 学校は、通信などで、学校や生徒の様子をわかりやすく伝えている

%表示	A	B	C	D	<保護者の意見>
生徒	56.7	38.9	3.9	0.6	・学校HPはいつでもどこでも見ることができるので、とてもありがたい。
保護者	41.4	51.7	6.9	0.0	
教職員	70.0	30.0	0.0	0.0	

◇学級通信や学校ホームページへの関心が高いことがわかりました。学校ホームページの写真や記事の掲載にあたっては、個人情報の保護に留意しながら、いろいろな教育活動や学校の様子など、幅広くわかりやすい情報の発信に努めます。

2. 授業参観や行事など、学校を開放して生徒の様子を見る機会を設けている

%表示	A	B	C	D	<保護者の意見>
生徒	64.4	34.0	1.7	0.0	・学校に行く機会が少ないので、どんな生活をしているのかわからない。
保護者	62.2	36.6	1.1	0.0	
教職員	73.3	26.7	0.0	0.0	

◇今年度もオープンスクールを2回実施（授業参観3回）しました。また、学校行事や活動報告会以外にも、生徒向けの講演会などお知らせして保護者参観の機会を設けていきます。

3. 先生は、教え方を工夫してわかりやすい授業を行っている

%表示	A	B	C	D	<生徒の意見>
生徒	50.0	43.4	6.1	0.6	・授業に関係のない話をする先生がいる。
保護者	14.8	65.0	19.1	1.2	
教職員	28.6	71.4	0.0	0.0	

◇保護者からは「わかりやすい授業とわかりにくい授業がある」等、教科（先生）によって教え方に差があるという意見がありました。本校では今年度も「生きて働く言葉の力」を研究テーマに、「主体的・対話的で深い学び」等の授業形態を取り入れた授業の研究を進めています。今後も授業公開や研修会を実施して授業力の向上に努めます。

4. 学校は、基礎学力の定着に向けた取り組みを行っている

%表示	A	B	C	D	<教職員の意見>
生徒	53.6	41.4	4.7	0.3	・基礎基本の定着に向けて、学校全体の取り組みをした方がよい。
保護者	19.5	58.4	21.4	0.8	
教職員	31.0	62.1	6.9	0.0	

◇保護者からは「学習相談の人数を増やしてほしい」「学力に自信が持てるように指導してほしい」

「わからない所を聞きに行ける環境がほしい」等の意見がありました。「基礎学力の定着」は、本校の重要な取組課題と捉えています。今年度も3教科（国語・数学・英語）で学級を二つに分けた少人数指導や教師二人による同室複数指導を実施しています。各教科で授業の改善に努め、基礎学力の定着を図るとともに、学習相談の在り方や質問できる機会の設定など、個に応じた対応や新たな取り組みを検討していきます。

5. 学校は、命の大切さや思いやりの心など、豊かな心を育てようとしている

%表示	A	B	C	D	<生徒・保護者・教職員の意見>
生徒	58.0	35.4	6.1	0.6	・特になし
保護者	25.0	65.4	9.2	0.4	
教職員	48.3	48.3	3.4	0.0	

◇本校は「人間尊重」を基盤とした教育活動に心掛け、“礼”を重んじる指導を行っています。授業だけでなく、学級活動や学校行事などの学校生活全般において、人と人との関わりを通して豊かな心を育てていきたいと考えています。

6. 生徒は規律正しく、落ち着いた学校生活を送っている

%表示	A	B	C	D	<生徒の意見>
生徒	28.2	52.8	15.2	3.9	・給食の待ち時間に、廊下で暴れている人がたまにいる。
保護者	35.5	54.6	9.2	0.8	
教職員	44.8	51.7	3.4	0.0	

◇月1回の「生活アンケート」からも「教室で暴れたり、廊下を走ったりしている」等、休み時間や給食準備時間の過ごし方が課題となっています。また、授業によっては落ち着かない時もありますので、節度ある休み時間の過ごし方や授業の受け方を生徒とともに考えていきます。

7. 先生は、生徒のことをよく理解して、適時・適切に指導している

%表示	A	B	C	D	<生徒の意見>
生徒	44.8	43.6	9.9	1.7	・相談しにくい先生がいるんじゃないかと思います。
保護者	23.8	59.0	16.1	1.1	
教職員	31.0	65.5	3.4	0.0	

◇生徒からは「先生が自分の考えを押しつけようとする」、保護者からは「悩みは聞いてもらえるが、解決せず流されている」「先生の言動にどうかと思う」等の意見がありました。生徒指導は保護者の理解と協力が不可欠です。生徒や保護者の意見を真摯に受け止め、自らの言動を振り返りながら生徒理解に努め、それぞれの立場で個々の生徒に応じた指導を、保護者と連携しながら行っていきます。

8. いじめや暴力がなく、生徒は安心して学校生活を送っている

%表示	A	B	C	D	<保護者の意見>
生徒	58.3	35.6	4.7	1.4	・いじめではないが、ある子とは関わりたくないと言っている。
保護者	25.3	61.3	11.9	1.5	
教職員	21.4	71.4	7.1	0.0	

◇生徒からは「いじめや暴力はある」、保護者からは「LINEで悪口を書かれている」「我が子が独りにされた、無視された」「生徒のことをもう少し見てあげてほしい」等の意見がありました。学

校は多くの生徒が生活しており、その複雑な人間関係の中で必ず摩擦が生じます。“いじめ”はいつでもどこでも誰にでも起こる問題として捉え、日々の生徒との関わりを通してだけでなく、「生活アンケート」や「教育相談週間」等、あらゆる手段で問題の早期発見に努めます。問題解決に向けては、機会を逸することなく適時・適切に指導し、その後も継続して見守っていきます。

9. 生徒の個性を大切に、生徒一人ひとりに活躍の機会と場がある

%表示	A	B	C	D	＜保護者の意見＞
生徒	45.3	42.5	10.8	1.4	・体育大会、文化祭では、子どものことを考えて配慮していただいた。
保護者	24.3	58.7	15.8	1.2	
教職員	21.4	71.4	7.1	0.0	

◇学級活動を中心に、教育活動のどこかで一人一人の生徒が「みんなから認められ、共感され、大切にされている」と実感し、「みんなの為になっている。必要とされている」という自己有用感が感じられる活動を今後も大切にしていきます。

10. 教育活動や学校行事などの時期や内容は、適切である

%表示	A	B	C	D	＜生徒の意見＞
生徒	59.9	37.0	2.8	0.3	・体育大会は準備期間があまりに短いので、あと1週間ずらしてほしい。
保護者	42.5	51.7	5.0	0.8	
教職員	36.7	53.3	10.0	0.0	

◇保護者からは「梅雨時の沖縄」「テスト直前の修学旅行」等、修学旅行の行き先や時期への疑問や「地域活動やボランティア活動を通して、自分の将来や良さなどを考える機会がほしい」等の意見がありました。修学旅行の行き先や時期については、毎年、当該学年の教師を中心に検討してまいりますので、保護者へは説明責任を果たすことをご理解いただけるように努めます。

11. 生徒の部活動は、楽しく充実している。

%表示	A	B	C	D	＜保護者の意見＞
生徒	55.2	37.0	5.6	2.2	・部活動の数が少なく、選択肢が少ない。
保護者	35.5	48.0	13.3	3.1	
教職員	17.9	71.4	10.7	0.0	

◇保護者からは「子どもが疲れている」「予定表が出るのが遅い」「個々の送迎が困る」「もう少し顧問の先生に見に来てほしい」「熱心に指導して下さる先生とそうでない先生の差が激しい」等、多くの意見がありました。1学期の保護者会で今年度の活動方針や活動計画等を説明するだけでなく、毎月の活動計画の早期連絡や必要に応じた保護者会の開催などで、保護者への協力を求めています。部活動の在り方については、今後も保護者への説明に努めていきます。

12. 学校は、安全指導や健康管理に努め、安全で安心した学校生活を送れている

%表示	A	B	C	D	＜保護者の意見＞
生徒	60.2	36.2	3.3	0.3	・学用品が多い。重すぎて成長期の体には良くない。
保護者	40.1	56.1	3.8	0.0	
教職員	58.6	37.9	3.4	0.0	

◇保護者からは「通学カバンが重すぎる」という意見が多数ありました。また「登下校が一人になるので心配」という意見もありました。通学カバンについてはリュック型に変更しましたが、そ

れでも成長過程にある生徒には身体の負担となっています。通学カバンの軽量化については、早急に検討します。また、生徒の体調管理、怪我や病気の予防、不審者対応なども、全教職員で共通理解して適切な対応に努めていきます。

13. 施設・設備の整備や環境美化に努めていて、快適な学校生活を送れている

%表示	A	B	C	D	＜保護者の意見＞
生徒	57.9	37.4	3.6	1.1	・クーラーが快適な人と寒すぎる人がいるので、羽織る物の許可を・・・。
保護者	44.3	51.5	3.8	0.4	
教職員	43.3	43.3	13.3	0.0	

◇生徒からは「校庭の草を切してほしい」「部室やグラウンドのトイレをきれいにしてほしい」、保護者からは「外のトイレが和室で、お年寄りには辛い」等の意見がありました。本校では毎月1回、施設・設備の安全点検に行っていますが、環境美化については生徒とともに取り組みます。

14. 生徒は、楽しく充実した学校生活を送っている

%表示	A	B	C	D	＜教職員の意見＞
生徒	60.2	33.7	5.0	1.1	・担任への不満を相談できる機会があると良いと思います。
保護者	35.1	58.4	6.5	0.0	
教職員	32.1	67.9	0.0	0.0	

◇今年度も、「A」と「B」を合わせた数値が90%を超える結果となり、全体的には概ね良好と捉えています。個々の生徒を見てみると課題もあります。学校生活を「楽しく充実している」と感じていない生徒に、今後も寄り添い関わっていきます。

15. 学校の教育活動は、全体的に見て満足できる状態である

%表示	A	B	C	D	＜生徒の意見＞
生徒	56.6	39.0	4.4	0.0	・コンピュータ化してほしい。
保護者	30.2	59.5	10.3	0.0	
教職員	40.0	56.7	3.3	0.0	

◇今後も、保護者や地域の方々のご意見を参考にして、教育活動の充実に向けて努めていきます。

○ その他の意見として

保護者からは「日々、多感な子ども達の教育活動で先生の負担が多くなっている」、教職員からも「勤務時間終了後も遅くまで残っている人がいる」「仕事が増えて中々帰れない」等、教職員の業務改善を求める意見がありました。教職員の多忙化を解消することは、生徒に向き合う時間が増えることに通じます。教職員が余裕を持って生徒指導や部活動に関わっていけるように、今後も取り組みを進めていきます。

* 「アンケート」を通しての貴重な意見は、全教職員で共有して検討していきます。